

レーダーシグナルフロート KRF-10

Radarsignal Float

見えにくい時でも
レーダーが
見つけてくれます

あなたの
ポケットに
この安心を

あなたの無事を
祈る人のために
レーダーシグナルフロートを
お役立てください

まさかの漂流

KRF-10 ご愛用者の声

Tさん（インストラクター）

軽くて小さいのでBCDのポケットにも楽に入るいつでも持っていられる所が良いと思います。私は常にBCDのポケットに入れています。レーダー反射の機能が付いていて、夜の捜索が可能になった事がとても画期的な商品だと思います。ぜひ多くのダイバーの方々に持ってほしいと思います。私は講習やガイドの際に皆さんに薦めています。

Mさん（ダイビング歴14年550本）

私は漂流し間一髪で見つけられた体験をしています。ドリフトダイブで、予定と違う所へ浮上しましたが、ボートとそれ程離れていなかったし、船長さんが良く見えていて安心していました。でもなかなか見つけてくれないのです。ホーンをならしてもミラーを使ってもダメでした。だめかなーと思ったその時、偶然振り返った船長がシグナルフロートを見つけてくれました。こうして生還できましたが、もしかしたらと考えるとぞっとします。

以来、シグナルフロートは必携品となりましたが、レーダーシグナルフロートに出会い即座に乗り換えました。私は実際に試してみましたが膨らまして持っているだけでレーダーに映るのです。レーダーを持っていないダイビングボートも多くありますが、捜索船には積載されている事でしょう。今ではレーダー反射機能の無いシグナルフロートでのドリフトダイブなんて、不安が一杯で考えられないです。漂流事故を少しでも無くし、ダイビングの不安要因を排除する為に、是非使っていただきたいと思います。

ダイビング以外の
海洋活動では
救命胴衣と共に
ご活用ください。

取扱店

国土交通省認定製造事業場

興亜化工株式会社

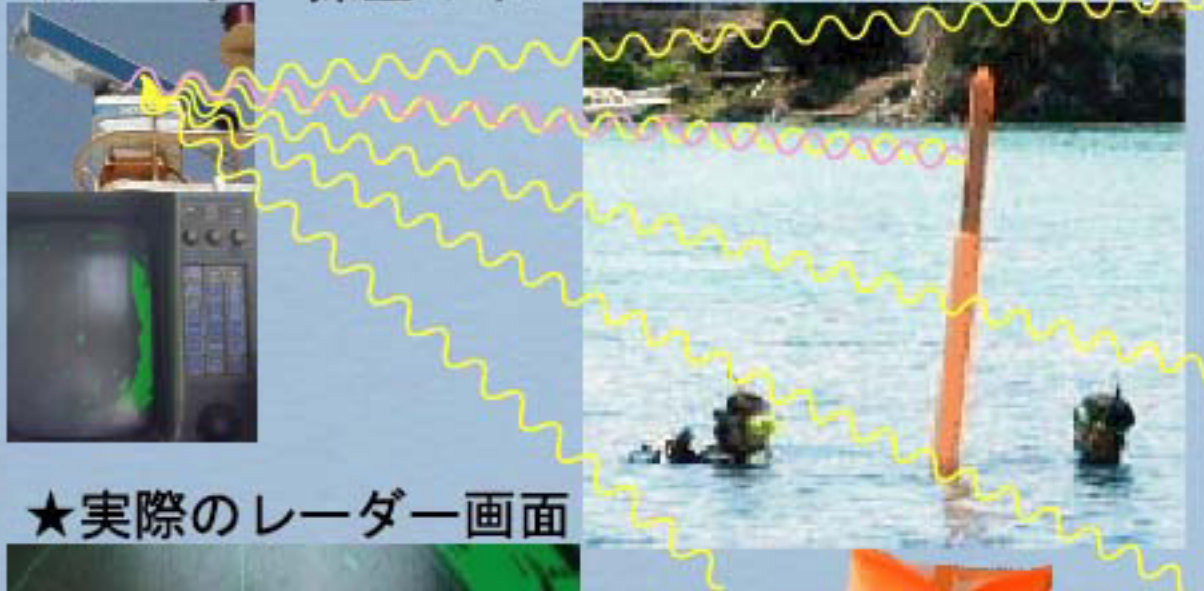
〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-13-9

電話：03-5835-2924 FAX：03-5835-1041

Eメールアドレス：sales@koa-kako.co.jp

ホームページ：http://www.koa-kako.co.jp

★レーダー探査のイメージ



★実際のレーダー画面



★レーダーの仕組み

船のレーダーは、回転するレーダーアンテナからレーダー電波を発信します。レーダー電波は物にあたると物の形や性質によってさまざまに反射します。反射した電波のうち、元のレーダーアンテナに戻ってきた電波を受信して、往復に掛かった時間と電波の強さを距離と大きさに変換して表示します。

レーダーシグナルフロート KRF-10は、アルミ反射板を十文字に交差させることで、レーダー電波を効率よく元の方向に反射します。

500m離れたとき、レーダー装置には平均して小型の漁船と同じ程度の大きさの画像に映りました。レーダー装置は遠くを見張る為の装置なので50m以内では逆に見えない場合もあります。



ごみを減らす為、外袋と固定用の紐を接着してあります。切り口から中央寄りに破くようにしてください。



開口部からオクトパスを差込み、エア漏れの無いようにしぼり込みます。袋の外からパージボタンを押して膨らまし、本体にエアを送り込みます。



開口部を開くと奥に緑色の逆止弁が見えます。エアが無い場合はここに口を当て吹き込んでください。

★本品の再使用に付いて

当社は、再使用した場合のいかなる事態についても責任を負いません。お客様の判断と責任で再使用なさる場合は、以下について充分確認されることをお勧めします。

- 1、空気漏れがないこと。
- 2、レーダー反射体が剥がれたり破れたりせず十文字に展張していること。
- 3、空気や水を抜くときはストローや指示棒などの鋭利でない細長い棒を使用すること。
- 4、逆止弁が機能していること。
- 5、元の折り線に従って上部から順に畳み込み、中の空気や水を十分に排出すること。
- 6、海水が中に浸入している場合は、レーダー反射体のアルミ箔が腐食していないこと。
- 7、その他異常がないこと。



収納時サイズ
9x9x2 (cm)
使用時サイズ
200xΦ10 (cm)
質量:85g
材質:ナイロン
ポリエチレン
アルミ箔etc.